

2022年

## 5月のカレンダー

学びの広場

みんなのちからで35年  
 (昨年の9月に35年目を迎えました)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
					金曜デイ 10~1時 アート	人形劇 12~2時
8	9	10	11	12	13	14
				スタッフ ミーティング 10~1時	金曜デイ 10~1時 外出 湧水巡り	青年の会 10~1時
15	16	17	18	19	20	21
	織りもの 10:30~12:30			スタッフ ミーティング	金曜デイ 10~1時 織りもの	織りもの 10~12時
22	23	24	25	26	27	28
				スタッフ ミーティング	金曜デイ 10~1時 ボランティア(小平)	青年の会 10~1時
29	30	31				

## 5月の活動についてのお知らせ

今月の活動予定は表記の通りです。

- ・金曜デイ  
5/6、13、20、27の4回、  
10~1時で行います。
- ・青年の会  
5/14、28の2回、10~1時で  
行います。

その他グループ活動はもうしばらくお休みです。

## 4月のギャラリー 「春のびょうぶ」



Hさん



Sさん



Nさん



Gさん

★学びの広場に入室する時には、マスクの着用、手指の消毒をお願いします。また、ご家庭での検温など健康管理にご協力ください。

## 学びの広場

TEL&FAX 042-322-7160  
 H P <http://manabinohiroba.com/>  
 E-mail [hiroba@pop17.odn.ne.jp](mailto:hiroba@pop17.odn.ne.jp)





4/8 金デイで湧水めぐり  
始めました。  
野川沿い～滄浪泉園など



Uさん



酔平☆さん

## 「プカプカ 西岡恭蔵伝」を読む



♪ オレのあん娘は、タバコが好きで いつもプカプカプカ  
身体に悪いからやめなって言っても いつもプカプカプカ・・・♪  
（「プカプカ」 作詞・作曲：西岡恭蔵）

1970年代の名曲といえば、私はこの「プカプカ」をあげる。フォークソングとして知られているが、ブルースのようでも、ジャズのようにもある歌だ。1971年に発表されたこの曲は、今でも多くのシンガーにカバーされている。作詞・作曲をしたのは、当時22歳の西岡恭蔵。「ディランII」というグループで歌っていたフォークシンガーだ。よく「五つの赤い風船」の西岡たかしと間違える人がいるが、こちらは「遠い世界へ」で知られるひょろっとした風貌のフォークシンガー、対して西岡恭蔵はがっちりした大男だった。

西岡恭蔵が、突然この世を去ってもう23年が経つ。忘れられた存在になっても仕方ないと思うくらいに長い時間が流れたが、昨年11月、「プカプカ 西岡恭蔵伝」（中部博著 小学館）が出版された。



丹念な取材で西岡恭蔵の人となりや浮かび上がらせた400ページを超える本は、西岡恭蔵とパートナーのKUROちゃんが作った歌の数々も織り込んであり、大変面白かった。今まで西岡恭蔵について書かれた本がなかったので、貴重な記録にもなっている。また、本には、大阪にあった喫茶店ディラン、URCレコード、関西フォーク、ディランII・・・、70年代のカウンターカルチャーの歴史が記述されており、懐かしくもあり、時代の流れの見ていなかった部分を知ることが出来て、嬉しくもあった。

私は、西岡恭蔵の乾いた声と、高いキーと、味わいのある歌詞が好きで、良く聞いていたものだ。好きな曲をあげると、Glory Hallelujah（グローリー・ハレルヤ）、我が心のヤスガーズ・ファーム、街行き村行き、・・・次々と出てくる。いまでもYou Tubeには、ファンによって、多くの曲がアップされているので、聞いて欲しい。

また、あまり知られていないが、西岡の作った楽曲は、矢沢永吉（A DAY、あ・い・つ 等）、細野晴臣（ろっかばいまいべいびい）、松田優作（うわきのブルース）、太田裕美（City Magic）和田アキ子（街角）などのシンガーにも提供されている。

新宿の模索舎に勤めていた頃、著者の中部博さんには、何度かお目にかかったことがある。本の後書きには、模索舎の先輩だった岩永正敏さんの名前が出てきたので、本の感想とともに連絡をとってみた。岩永さんは、西岡恭蔵さんと親しくしていたので、亡くなった後に、何回か追悼のCDコンサートを開いたことがあったと話してくれた。

本を読みながら、つくづく惜しいシンガーを亡くしたとの思いが募った。西岡ファンならずともプカプカが好きなら、手にとって読んでもらいたい本だと思う。

（細田伸昭）

